

【シーボルトミミズ】

フトミミズ科 フトミミズ属
Pheretima sieboldi (Horst, 1883)
 広域分布種

九州、四国、中国、紀伊半島、中部（一部）に分布する。背面が濃紺～青藍色の光沢を放つ特徴的な大型種である。季節によって生息層を移動する種で夏期の活動期は表層に、冬期は深い場所に移動する。性徴や外部標徴は保有しない。



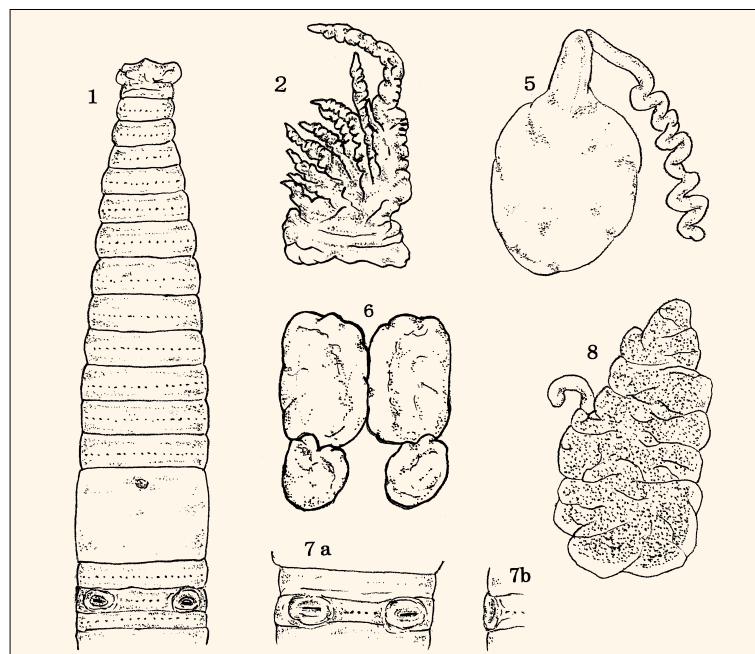
▲青藍色の光沢を放つシーボルトミミズ

▲縞のあるシーボルトミミズ [南谷原図]

ここがポイント 青藍色の光沢を放つ大型のミミズである。

- 【生息】表層種(冬期は深部へ)
 越年生
 【分布】九州～中部、紀伊半島
 【形態】
 ◆体長：240～400mm
 ◆体色：濃紺～青藍色
 ◇腸盲囊：多形状型
 ◇受精囊孔：3対(第6/7/8/9体節の間)
 ◇性徴・生殖腺：なし

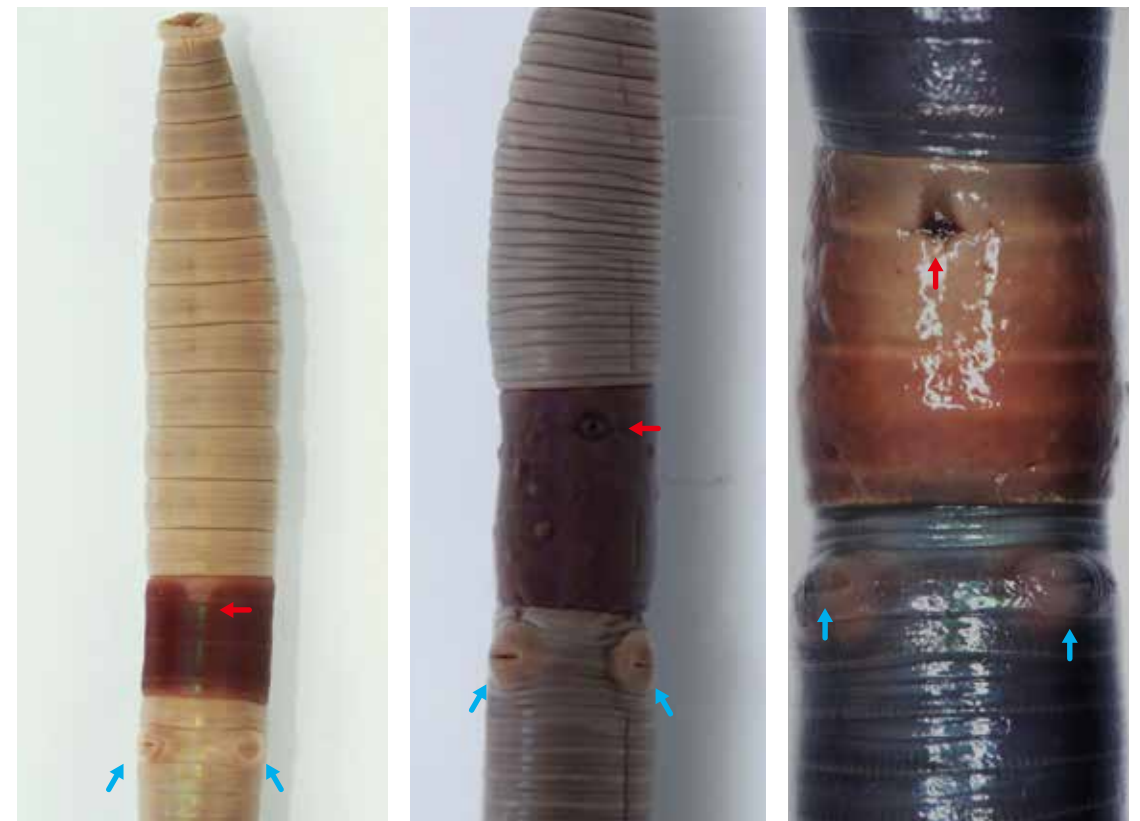
- 【形態図】
 1. 前部腹面
 2. 腸盲囊(多形状型)
 5. 受精囊
 6. 貯精囊
 7a. 第18体節雄性孔
 7b. 第18体節側面
 8. 摂護腺



標本写真；ホルマリンにより固定

シーボルトミミズの外部形態(腹面)

→：雌性孔、→：雄性孔、→：受精囊孔



→ 雌性孔：第14体節
 → 雄性孔：第18体節

→ 雌性孔：第14体節
 → 雄性孔：第18体節

第14体節雌性孔(→)および第18体節雄性孔(→)



第14体節雌性孔(→)および第18体節雄性孔(→)



第6/7/8/9体節の間の受精囊孔(→)